

## 『Veronica - Night ～淫靡な教育～』

### ◆ 出演

城築 海杜 … 一夜愛 様

### ◆ 登場人物

城築 海杜 (きづき かいと) 二十八歳

在籍歴の長いベテラン教育係。

性格は穏やかで優しく、人当たりもよい。

施設出身で、荒れた時期を過ごした後に組織へ所属した。

○トラック1

■洋館・エントランス

//古い洋館の重厚な扉を開け、主人公が中に入る

※SE：重い木製扉が開く音

※SE：入る足音

※SE：扉が閉まる音

//主人公、恐々と中に進む

※SE：足音

//廊下の奥から海杜が来る

※SE：遠めから近づく足音

【⑨ヒキから⑨】

「(歩きつつ) いらっしゃい。待ってたよ」

//主人公、足を止めて多少訝しむ。海杜も傍まで来て止まる

※SE：双方の足音停止

①

「(クスッと笑い) そんな顔しないで。君を面接したのは俺じゃないけど、話はボスから聞いてる。全部わかってるから、何も心配する必要はないよ」

「君は今日からここに入る新人さん。で、俺は君の教育係だ。名前は海杜。慣れるまでは俺が専属で君を見る事になってるから、よろしくね」

【①マイクに背を向けつつ】

「それじゃ行こうか。部屋まで案内するよ」

//海杜が歩き出し、主人公もやや遅れて続く

※SE：海杜の足音

※SE：少し後から主人公の足音 →二人の足音、FO

(間)

■洋館・主人公の部屋

※SE：海杜がドアを開ける音（普通の居室ドア）

【⑦】  
「「」だよ、入って」

//主人公→海杜の順で入る

※SE：入室の足音×2

※SE：ドアを閉める音

※SE：二人で部屋奥まで進む足音、数歩

//主人公、室内を見回して広さに驚く

※SE：首を巡らす感じの衣擦れ

【⑥】

「そんなに広い？「」に住む女の子の部屋は全部この広さだよ。バスルームと手洗いも部屋」とについてるし、生活に必要な物は大体揃ってる。不自由はないと思うけど、もし何か欲しい物があったら言つて」

//主人公、好待遇に驚き困惑

※SE：衣擦れ

「（不思議そつな息）……？ どうかした？」

//主人公、海杜を見て答える

※SE：衣擦れ

【⑧】

「はは、もっと酷い環境で大変な生活させられると思つてた？ そんな事するわけないよ。だって君は、これから『ヴュロニカ』になる女性なんだから」「

「もう把握できてるとは思つけど、一応改めて説明しておこうか。ここは

高級娼婦『ヴュロニカ』を育成する為の特別施設だ。君には今日から「」で、毎日俺たち教育係の指導を受けてもらう。期間は決まってない。俺たちとボスが、君はもう一人前だと判断するまで」

「教育内容はベッドでの指導が8割。あと2割は教養のレッスンだよ」

主人公：教養？

※SE：首を傾げる衣擦れ

【①】

「お客様には政財界の大物も多いからね。教養やマナーもそれなりに必要になつてくるだろ？？」

【①から②ややヨコ】※押す時に寄る

「まあ、教養レッスンはそこまで厳しくないよ。

それより、まずは……（軽く押す）んつ……」

//海杜、主人公の肩を軽く押してベッドに座らせる

※SE：衣擦れ

※SE：ベッドに座る音

【③ややヨコ】

「君の体を確認しないといけないからね。さうそくだけど、始めるよ」

//海杜、主人公をそのまま押し倒す

※SE：ベッドに横たわる音

※SE：くみしだく衣擦れ

【②ややヨコ・やや上】

「（くみしだき）ふ……下向かない、ちゃんと俺を見て」

【①ヨリ】

「（キス）最初だけ軽めで、すぐに深く」

「（キス）ふ……悪いね……キス、うまいよ……ふ……」

### 【①ややヨリ】

「（息をひいて） 声は抑えない事。 でも演技もダメ。  
素直に、感じたままの反応をするんだよ」

// 海杜、愛撫しながら服を脱がしていく  
※ SE : 服を乱す衣擦れ・断続的に

### 【⑧ヨリ/首の位置まで下がりつつ】

「（頬から首筋にキスを移す）」

### 【⑧ヨリ/胸の位置まで下がりつつ】

「（首筋から胸元までキスを移す）」

// 海杜、少し体を起す

※ SE : 衣擦れ

### 【⑧ややヨリから①ややヨリ】

「手、伸ばして……（脱がす息）」

※ SE : 上衣を脱がす衣擦れ

### 【①ややヨリ】

「ああ、いいね。君の肌、上気するといい感じに色づくみたいだ。  
」うううの、男は嬉しいからね」

【①ややヨリから②ややヨリ】※ ブラ取る時に動く  
「（小さく苦笑して） でもブラは不合格。もつといい下着を用意してあげるから、  
「れはもう着けなくていいよ。（ブラ取る時の息）」

// ブラを取る

※ SE : ホックを外す音（あれば）

※ SE : シュルッと取る衣擦れ

### 【①】

「（値踏みするように見て） ……うん、乳首もいい色だ。素材は悪くないな」

【①から②ややヨリ】 ※触れる時に動く

「次は、触り心地と感度だね……（胸に触れる息）」

【③ややヨリ】

「（触れつつ）へ……柔らかさはいい感じだけど、触り心地としてはもう一息。もつと手に吸い付くみたいな滑らかさが欲しいね。ま、手入れ次第ですぐ改善できるけど」

//胸に触れ、揉み始める

※SE：小さな衣擦れ・断続的に

【④ややヨリ】

「（触れつつ）へ……君は」「、じつはれるのが好きなの？」

※SE：身をよじる軽い衣擦れ

「ひいんだ？ 結構強い刺激も感じるんだね。じゃあ……」「れば？ ん……」

※SE：身をよじる軽い衣擦れ

【⑤ややヨリ】

「くえ。強く引っ張られても爪を立てられても感じるなって、上出来だよ。乳首の開発は半分以上できるね」

【⑥ややヨリ／後半で胸の位置まで下がつつ】

「それじゃ、もつと感じさせてあげるから。どんなふうに體ぐのか、たくさん聞かせて……」

【⑦ややヨリ】

「（胸を舐める。最初はやや控えめ）」

「（舐めつつ）へ、ふ……あれ、その程度しか声出ない……？ じゃあ、もつとかな……（舐め方を激しくしていく）へ……」

//主人公、少し大きく「反応  
※SE：身をよじる衣擦れ

「ああ、やべりしい声になつてきた。その調子だよ。ほら、爪立てられても感じる  
なら、噛まれるのもいいだらう……？」（噛んでから舐めたり吸つたりする）

【②やや下】

「（逆の胸も、吸つたり舐めたり激しく口淫）」

主人公：貴方うまい…  
※SE：衣擦れ

【②ややヨリ】

「え……はは、それはどうも。うまいのは当然だけどね。  
でなきや教育係なんて務まらない」

「でも、これ位でそんな事言つてたら後が大変だよ。まだ下も触つてないのに」

「ああ……むしかして触つてほしいって意味だったのかな」

※SE：首を振る衣擦れ（否定する）

【①】

「んひゃ… でもいいよ。胸の感度は大体わかつたし、次に進もう」

//海杜、少し体を下げる

※SE：衣擦れ

【①やや下から①下】※胸から腰の位置くらいまで下がる

「（下がる時の息）……腰上げて。（脱がす時の息）」

※のE：下衣を脱がす衣擦れ

【①下】

「（秘部を見て）……ふふ、よく濡れてる。  
新人としては、感度も反応も申し分ないね」

### 【①下から②下】

「下着も脱がすよ。（脱がす息）」

※SE：下着を脱がす衣擦れ

### 【②下】

「見せて。（足を開く時の息）」

※SE：主人公の足を開く時の衣擦れ

//海杜、軽い手淫を始める

※SE：水音・控えめなものを断続的に

### 【①下】

「（触れつつ）…………いい色だ。ヒダの形も…………何度も男を受け入れて、程よく淫らに成長したって感じだね」

「クリトリスは…………小さめの方かな。ま、これはお客様にも好みがある」……

「問題は中だ。緩んでないかどうか…………（指を入れる息）」

//指を入れる

※SE：指が入っていく感じの水音

※SE：主人公がよがる衣擦れ

### 【⑧下からマイクを見上げて】

「気持ちよかった？ それでいいんだよ、今日の君の仕事は、素直に感じてる姿を見せる事だから」

//海杜、膣内の手淫を開始

※SE：指を出し入れする水音・継続

### 【⑧下】

「（手淫しつつ）ん……ああ、大丈夫そうだな。  
ん……名器とまでの締め付けじゃないけど、しっかり絡みついでくる……」

【⑧下からマイクを見上げて】

「ど」が好きなの？ 経験値は充分みたいだし、Gスポットでよくなるのは簡単だよね？ (手淫) んつ……、つ……、「……」

※M：よがる衣擦れ

【①下からマイクを見上げて】

「うふ、いじょ。感じて、もっと欲しがって」

【①下】

「こ」は問題なし、と。次は奥だ…… (指を奥へ) んつ……  
ポルチオでイッた「とはある?」

【①下から②下】

「わかつてゐだらう? 奥の方だよ……ひ……」の辺、かな……

//主人公、大きく反応

※SE：衣擦れ

【②下】

【②下／「どうなの」から軽くマイクを見上げて】

「当たり、『だね。どうなの、イッた事はあるの?』」

主人公：時々

【②下】

「時々か……あまり上手い男に当たつて『なかつたのかな。  
じゃあ』は、今後重点的に開発だね」

「とりあえず一度いかせてあげるよ。もう少し足開いて。(足を開く時の息)」

※M：足を開く衣擦れ

//海杜、秘部に顔を近づける  
※SE：衣擦れ

【①下】

「わい、どんなイキ方見せてくれるかな……」

//手淫と口淫を同時に

※SE：水音・継続（口調がメインで聞くよう、小さめで）

「(秘部を舐める)」

「(舐めひつ) んつ……快感はね……体に覚えさせるものなんだ……ん、ふ……。まだ奥だけでイクのは難しいな、一いつして他の部分での快感と合わせてしまえばいいんだよ……ふつ、じゅう……」

「クリトリスと奥でイケたら、次は奥だけにする。奥だけでイケるようになつたら、今度は連続でイケるようにする。そうやって、どんどん感度を上げていってあげるから……今日は、このままイッて……」

「(舐めたり吸つたり、激しく)」

「(舐めひつ) ふつ、ん……ああ、奥が痙攣してきた……イキそつかな……」

「(舐めたり吸つたり、激しく。追い立てるように長めに攻めて頂き、最後に主人公が達する)」

//主人公、達する

※SE：ズクツとする衣擦れ

//海杜、手淫だけ続ける

※SE：水音

【①下から⑧下】

「(息をひこて) イッたね……ふふ、中もキュウキュウ締まつてる」

//海杜、指を抜き体を起す

※SE：抜く水音

※SE：体を起す音

【⑧下から⑧】

「(体を起し「す時の息)」

【⑧】

「気持ちよかったです? 声も結構可愛かったですよ。……ちょっと待ってね」

//海杜、上衣を脱ぎ、前をくつろげる(下は脱がない)

※S'E : シヤツを脱ぐ音

※S'E : ベルトを外す音とファスナーを下ろす音

※S'E : 隠部を出す時の衣擦れ

【⑧ 軽くマイクから外して】

「(右記、脱いでいる間の息)」

【⑧から①/マイクを見つつ】

「お待たせ。といふで君、今日は安全日っ。」

※S'E : 頸く衣擦れ

【①】

「やつ。じやあナマでしようか。君の中の感、じかに抱擁しておきたいし」

【①から①ややヨリ】※挿入の時に寄る

「大丈夫だよ、後でアフターペルもあげるから。  
……行くよ。(挿入) んつ……」

//正常位で挿入

※S'E : 挿入の水音

【①ややヨリ】

「(やや感じつつ) んつ、はあ……ああ、いいね……すっかりほぐれてるけど、  
俺のにぴったり吸い付いてくる……は、んつ……」

「濡れ方も申し分ないし……仕上げれば、かなり良くなりそうだ……はあ……」

**【②ややヨリ】**

「わっ一回、ポルチオでいかせてあげるよ……（動き出す）んっ……」

//律動開始

※SE：抽挿の水音・最初はゆっくりめに継続

**【②ややヨリから③ややヨリ】**※主人公が横を向いたので

「律動の息。最初は控えめに」

**【③ややヨリ】**

「（律動しつつ）横向いちゃダメだよ……んっ……顔、ちゃんと見せて……」

**【②ややヨリ】**

「（律動しつつ）向き合っている時は相手に表情を見せる事、声を聞かせる事……」

「……」

「速く、するよ……んっ……」

//律動を少し速める

※SE：抽挿の水音・少し速めて継続

「（律動の息）」

**【②ややヨリから③ややヨリ】**

「（律動しつつ）はあ、はっ……そ、その顔だよ……君が快感に溺れる姿で、男はさらに欲情するんだ……俺も、いいよ……はあっ……」

**【①ややヨリから①ヨリ】**

「キスしようか……（深いキス）」

**【①ややヨリ】**

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

「（ふりと笑って）もつといい顔になつた。」

「……」

【①ややヨリから①ヨリ】

「まだまだ感じさせてあげるよ……（キスしながら律動）」

【⑧ヨリから⑦ヨリ】

「（律動しながら頬から耳へキスを移す）」

【⑦ヨリ】

「（耳を舐める）」

※SE：主人公がよがる衣擦れ

「「」も感度よし。攻めがいがあるね。（耳を舐める）」

//海杜、律動をやめて一度抜く

※SE：抽挿の水音が遅くなつていく→抜く音

【⑦ややヨリから⑧】

「（律動遅めでいく） はあつ……はつ……（抜く） んつ……」

【⑧から⑥】

「……向き変えるよ。両手ついて、お尻上げて。（促す時の息）」

//海杜、主人公の移動を促しバックへ

※SE：ベッドの上で動く音

【⑤】

「顔が見えなくなるから、その分いい声で啼いてね……（挿入） んつ……」

「さあ、奥でイーつか。思い切り突いてあげるから……（律動開始） んつ……」

//律動再開

※SE：挿挿の水音、ゆっくりから速度を増して継続

//再挿入

※SE：挿入の水音

### 【⑤から④】

「(律動の息)」

【④】  
「(律動しつつ) はあ、はつ……正常位より、バックの方がしつかり届いていいだろう……? 『うう……俺にも、コココロしたと』が当たるのよくわかる……」

「『』の感触は男も大好きだから……」

「『』は、もっと敏感にしてあげないとね……んつ、ふつ……」

//海杜、律動を速める

※SE：水音・やや大・継続

※SE：肌がぶつかる音・継続

【④から③ややヨリ】※背後から覆い被さり、耳の少し後に顔が来ている  
「(律動の息。少し激しさを増して)」

主人公：激しい……

※SE：身をよじる衣擦れ

### 【③ややヨリ/軽くマイクを見て】

「(律動しつつ) 激しい……。今田は優しくしてるのはもりなんだけど……。でも、君だって気持ちいいんだろう……? 中はいやらしく、俺のを締め付けてるよ……こつ、ふつ……」

「ほら、集中して……はあ……はつ……」「……」

「(律動の息) ……ああ……中がすくへ波打ってるよ……イキそう……?」

「我慢しないで、イッていいよ…… (更に律動を速める) ふつ、ふつ……」

//絶頂へ向け更に律動を速める

※SE：水音・やや大・速度を増して継続

※SE：肌がぶつかる音・速度を増して継続

※のE：ベッドの軋み・継続

【③ややヨリから④やヨリ】

「(律動の息。熱く)

【④やヨリ】

「(律動しつつ) はあつ、くつ……んつ、キツツ……はあつ、はつ……」

「(律動の息。最後に主人公が達する)」

//主人公、達して痙攣

※SE：バクツとする衣擦れ

//達した主人公の締め付けで、海杜も達する（中出し）

「(達する) さあ、くつ……ん、くつ……」

【④ややヨリから③やヨリ・マイクと並行】（覆い被さるだけ）

「(射精中の息)」

【③ややヨリ/マイクと並行】

「(荒い息を落ち着けていく・FO)」

（間）

//事後、互いにベッドに座り服を着ている

※SE：服を着る音、二人分・FI

【②ヒキ】

「(軽く息をついて) お疲れさま。今日の予定はこれだけだから、後はゆづべつしていいよ」

※SE：頷く衣擦れ

「それにしても……君、ほどほど緊張してなかつたし、抵抗もしなかつたね」

主人公：駄目?  
※SE：衣擦れ

**【①ヒキ】**  
「駄目なわけないさ。むしろ俺はやりやすくて助かったけど、最近はそういう子いなかつたなと思って」

「……」がどんな所かわかつていても、最初はガチガチに緊張してたり、土壇場で怖気づいて泣き出す子も結構いるのに」

//主人公、淡々と答える  
※SE：衣擦れ

**【②ヒキ】**

「（静かに驚く）…………そ、うなんだ。はは、す！」じね。初日に『早くお金持ちに買われて楽な生活したい』なんて言い切った子は、君が初めてだよ」

「…………君が自ら望んで……」に来た事は知ってる。でも、特に生活が困窮してたわけじゃないって聞いてるけど…………どうして来たの？」

//主人公、答える  
※SE：衣擦れ

**【③ヒキ】※主人公が顔を背けた**

「今までと大して変わらない…………？　それって…………」

「（話を聞き）…………そ、か。男の財力に頼るのは、君にとつては今に始まつた事じゃないんだ」

「（話を聞き）施設出身か…………確かに、いまだにそういう事を気にする企業はあるからな…………堅い仕事に就くのも難しいよね」

（※自分も同じ身上なので、少し実感や含みを持つて）

主人公：私には体しかないし  
※SE：衣擦れ

〔2〕ヒキ

「なるほど。同じような事をして今まで以上のお金を手に入れられるなら、そりやあ魅力的だね」

「ふーと思うよ。……うー、そもそも俺が君の志望動機」「うー」「うー権利もないんだけど。」「わーとしては、指導がスムーズに進みそつだからありがたい」

「でも、ひとつだけ言わせて。君はせいか、『私はせ』の体しかないと、

「それは違うよ。『ゾーロ二カ』は体だけを売る仕事じゃない。君という存在全てで男を虜にする……そういう仕事だ」

＼＼主人公、理解できず首を傾げる  
※ＳＥ…衣察れ

1

「（ふつと笑つて）……今はまだわからないかな。いいよ、『これから俺が、時間をかけてしつかり教えてあげるから』

7

○トラック2

■主人公の部屋

//指導一回目。お互いバスローブでベッドの上にいる

※SE：軽いベッドの軋み

【⑧ヒキ】

「わざと。それじゃ、始めよつか。（脱ぐ時の息）」

//海杜、バスローブを脱ぐ

※SE：衣擦れ

【①ヒキ】

「君も脱いで、横になつて」

※SE：主人公がバスローブを脱ぐ音

※SE：主人公がベッドに横たわる音

【①やや上】

「それでいい。脱がす工程の演出も大事だけど、そういうのはおじおじね。バスローブじゃ特に脱がす楽しみもないし」

【①やや上から①】

「まずは、肝心の体を仕上げていかないと……（胸に触れる）ん……」

※SE：胸に触れる小さな衣擦れ

【①】

「（触りつつ）最初は「」。君の乳首、今でも結構いい感じだから、手早く仕上げていく事にあるよ」

主人公：まさかそ」の…

※SE：衣擦れ

【② 軽く左を見て】※キャスト様から見て左

「やべ、これをつけるんだ」

//海杜、サイドボードに置いてあつた、ゴム製ニップルリングを取る  
※SE：小さな音（カタツ…）

**【② マイクを見て】**

「ニップルリングは初めて？ 大丈夫。ゴム製だし、そんなに強い締め付けの物じゃないから。やんわり絞められてるくらいかな。でも勃起した乳首にこれをつけ続けると、ずっと快感が続くから。すぐに今以上に敏感な乳首になれるよ」

**【②ややヨリから⑧ややヨリ】**

「(ひなる時の息)」

//ニップルリング装着

※SE：小さな音（パチツ）、2回

※SE：主人公が身じろぐ衣擦れ

**【①】**  
「ね、痛くはないだろ？ ジキンもひとつ気持ちよくなれる」

**【①から⑧ヨリ】**

「ほら、じつとして。自分で外しちゃダメだからね……（頬に数回キス）」

**【⑧ヨリから⑦ヨリ】**

「（頬から耳にキスを移す）」

**【⑦ヨリ】**

「（耳元で囁き気味に）最初のレッスンからこれをつかられるのは優秀だよ。期待してるから、頑張って……（耳を舐める）」

※SE：主人公が身じろぐ衣擦れ

「感じる~ やつ~の時は、どう気持ちいいのか言つんだよ。（耳を舐める）」

**【⑧ヨリから②ヨリ】**

「（息をつかつ反対側に移動）」

### 【③πコ】

「(彼の耳を舐めるの)」

「どうなの… 耳を舐められるといつたがうのか、ちゃんと葉にして…。」

//主人公、話す  
※SE：衣擦れ

「いい子だ。その調子」

### 【②ややヨコ】

「耳への刺激だけで、乳首もさつきより大きくなったね。締め付けが増したの、自分でもわかるだろ?」

### 【②ややヨコから①ややヨコ】

「ヤ」は後で触つてあげる。……足を開いて」

※SE：足を開く衣擦れ

//海杜、秘部に触れる

※SE：水音

### 【①やや下/俯き気味で】※田線は秘部の方

「昨日より濡れてる。いいね」

//陰核を軽く手淫

※SE：小さめの水音・継続

「(手淫じつひ) ハハ……クリトリスにも、もう少ししたがコンソングをつけようか。上にでも下にでもつけないと、連続で何度もイケるよ」

※SE：よがる衣擦れ

### 【⑧やや下からマイクを見て】

「気持ちいいの? ふふ、まだ指も入れてないの?」

## 二指を入れる

※ S E .. 水音

第三章 / 未完待續

## 「指を入れる時の息」

※ SE · 水音 · 繼續  
// 手淫開始

【⑧やや下からマイクを聞いて】  
「（手淫）ひつひつて、お腹の裏側、ここだわね……。」

※SE: よがる衣擦れ

## 【①やや下からマイクを見て】

「そうだよ……好きな所に触ってもらつた時は嬉しいよね？顔で、声で、体で……その悦びを示すんだ……んっ……」

※S日 よがる衣擦れ

「戻<sup>ア</sup>せ。下<sup>ア</sup>から<sup>ア</sup>1<sup>ア</sup>モリ」

—可憐いよ、もじ話ねや……（手鏡）（（（#R））

【①ヨリ】

「(キスしつつ)んっ……キスも情熱的にね……  
君からも絡めて、吸って……んっ、ふう」「

〔①やまこ〕「鳥をひらひら、ふわふわ飛んでる、やまこがいる」

※SE.. よがる衣擦れ

※SE よがる衣擦れ

「そのまま身を任せなんだ。我慢する必要ない、出して」

//追い立てるように手淫を速くする

※SE：水音・速めて継続

「ほり……むへ、たまらないだろ？……？（手淫の息）う……、う……」

//海杜が指を抜いた直後、主人公、潮を吹く

※SE：抜く水音

※SE：ビクツとする衣擦れ

※SE：潮吹き音

②

「……ああ、いい出たね。上手だよ」

//主人公、ぐつたりする

※SE：衣擦れ

「息切れるほど激しくイッちやつた？ よかつたね」

「でも休んでる暇はないよ。感じさせてもうひたら、次はお礼をしないとね。……入れる前に、俺のを舐めてくれる？」

主人公：え…

【②から②ややヨリ】※腕を引く時に寄る

「主人様への奉仕も大切だろ？ さあ、起きて。（腕を引く）んっ……」

//海杜が主人公の腕を引いて起こす

※SE：掴む音

※SE：起きる時の衣擦れ

【①上】※海杜は膝立ち。主人公はその前でぺたんこ座りの状態  
「両手で持つてね。まずは自分の思つよつにひつてみて」

//主人公、始める

※SE：手を添える時の小さな衣擦れ

※SE：控えめな水音・断続的に

「(控えめに感じじて)る息、しづめりへ)」

「(控えめに感じじつ)はあ……「つかも、慣れてるみたいだね……さすが、色々な男に尽くしてきただけはあるよ……んつ……」

「でも……もつと、俺の反応に注意して……ど」をどつした時に俺のが硬くなつたのか、俺が声をあげたのか……最初の一回で、

君はそれを覚えなくちゃいけない……」

「はあ……んつ……わかるだろ?……?」

俺が弱いと「ろを、丁寧に攻めてみて……」

//主人公、口淫を少し激しくする

※SE：舐めたり吸う水音・継続

【②上】

「(少)快感を増して)んつ……正解……まあ、基本的に感じやすい」と「るは決まつてるけど……俺は裏筋を根元から先まで、舌全体で舐め上げられるのが好きなんだ……」

「もつ少し強く……何度も往復して……その後カリへ移動されると、す!」へ、こ、……んつ、はあ……」

「はつ……んつ……あ、そう……上手だよ……。だけど手が疎かだ……口で先端を攻め始めたら、根元はちゃんと手でしないと……。強すぎず、弱すぎず、絶妙な力加減で……そう、それくらい……」

「最後は口と手両方で……し!」じて……もつと……喉の奥限界まで、入れて……んつ……」

【②上から①上】

「(感じている息。徐々に快感を増して)」

【①上】

「はあ……ふう……ああ、イキそつだ……そのまま続けて……」

「出す、からね……飲むんだよ……はあ……ふう……」

「感じてこる息。最後に達する」

※SE：水音停止

【(射精中の息)】

//主人公、口を離す  
※SE：小さな水音  
※SE：衣擦れ

【⑧上】

「(少し荒めの息で) ちやんと飲めたね。  
まずそんな顔してないのは偉いよ、お利口さん」

「合格点。今以上のテクニックは、また次回教えてあげる」

//海杜、胡坐をかく  
※SE：動く時の衣擦れ

【⑧上から⑧】

「(座る時の息) ……今日は座つてしまふ。君が自分で入れていいから」

//主人公も移動し、対面座位へ  
※SE：動く時の衣擦れ  
※SE：挿入の水音

【①ややヨリ・やや下】

「(軽く感じて) んつ……もつと入るだらう……? 早くおこど……」

「……」

※SE：挿入の水音（入り切る）

**【①ややヨリ】**

「（快感の息をついて）…………ふふ、やわらかい目だ。」

「奉仕している間も疼いてたのかな」

「やっぱり君には素質があるね。今まで以上の快感を知れば、とても淫らで魅力的なヴェロニカになるよ。間違いない」

「安心して。俺がしつかり教えてあげるから……（動き出す）んっ……」

//律動開始。最初はゆっくりめから、徐々にリズムに乗っていく

※SE：抽挿の水音・断続的→継続

**【①ややヨリから②ややヨリ】**

「（律動の息。最初はゆっくりめから、徐々にリズムに乗っていく）」

「（律動しつつ）俺の肩に、手を置いて……君も、動くんだよ……  
はっ、んっ……」

※SE：肩に手を置く音（ペチ、ペチ）

※SE：抽挿の水音・継続

**【③ややヨリ/軽くマイク見て】**※主人公が前傾して顔が横に来た

「んっ……ああ、深いね……。どう……？  
下からえぐられて……気持ちいいだろう……？　はっ、ふっ……」

**【③ややヨリから②ややヨリ】**※後半で動く

「でもこんなものじゃないよ……」

「お預けだったた」「、可愛がつてあげよつね……」

//海杜、律動しつつ主人公の乳首に触れる

※SE：衣擦れ

※SE：主人公が大きく反応する衣擦れ

【②ややヨコ】

「はは、やはぱりリングの効果は絶大だ。自分でも実感してんだが、  
昨日はつままれただけじゃここまで感じなかつたのに、って」

「「ハント……リングの上から、」ねるよつ」とすると……」

※のE：よがる衣擦れ

【①ややヨコ】

「駄田： 違うよな。どうなかちゃんと離つて？」

//主人公、話す

「熱い、か……じやあもつと熱くしてあげる。

奥もたぐさへ突いてあげるから、何度もイッてもいいよ」

//海杜、律動を激しくする

※SE：水音、やや大きくして継続

※SE：肌がぶつかる音・継続

【①ややヨリから②ややヨコ】

「（律動の息。）これまでより激しめに」「（）」

【②ややヨコ】

「（律動しつつ）はあつ……ふつ……はは、す」い音だ……  
「んなに感じてるんじや、すぐイッちゃうかな……」

「（律動の息）」

【②ややヨコ/胸の位置まで下がりつつ】

「（律動しつつ）乳首は……次は、「うしてみよつか……」

【②やや下】

「（律動しつつ胸舐め）」

「いいだろ？……？ 昨日と同じ強さで噛んでも、感じ方はだいぶ違うと思うよ……（噛んでから、また舐めたり吸つたり）」

主人公：イク！

※SE：よがる衣擦れ

「ふふ、ほらね……。イク……？ どうぞ……

（舐めたり吸つたり。追い立てるよつに激しく。最後に主人公が達する）

主人公、達する

※SE：ビクツとする衣擦れ

//海杜、律動を緩やかにするが止めない

※SE：抽挿の水音・断続的に

【⑧ややヨリから⑦ややヨリ】※主人公が前傾し顔が横に来ている

「はつ……んつ……ああ、す」く締め付けてくるね……気持ちいいよ……

主人公：止まって……

※SE：衣擦れ

【⑦ややヨリ/軽くマイクを見て】

「んうして止まらないといけないの？ 俺はまだイッてないんだから、終わるわけないだろ？？」

「君もまたいけばいい……ほり……（律動を速める）んつ……」

//律動を速める

※SE：抽挿の水音・継続

※SE：肌のぶつかる音・継続

「（律動の息。また熱さを増していく）

【⑦ややヨリから⑧ややヨリ】

「（律動しつつ）はあつ……くつ……痙攣が、止まらないね……。んう……？ 続けていくのは、たまらないだろ？……？ はあつ、ふつ……？」

### 【⑧ややせ】

「(律動しつつ胸舐め)」

//律動を更に速める

※SE：抽挿の水音やや大・継続  
※SE：肌のぶつかる音・継続

### 【①ややせヨリから②やせヨリ】

「(律動の息。自身も高まつたり)」

「(律動しつつ)はあつ……んつ……俺も……そろそろ、かな……。  
子宮口にたぐねんぶつけてあがる……今ならきっと、その心地よさで  
またイケるよ……まつ、へつ……」

### 【③ややせヨリ】※密着して顔が横に来ている

「(律動の息。高まつてじき、最後に達する)」

//一人、達する(海杜は中出し)  
※SE：ビックンとする衣擦れ

### 【③ややせヨリから②やせヨリ】

「(射精中の息)はあつ……はつ……す「い、ね……。最後の締め付け……  
食いちぎられるかと思つへい、俺もよかつたよ……」

### 【①ヨリ】

「(優しく深いキス)」

### 【①ややせヨリ】

「(息をひいて)……お疲れさま。今日はままでしておくから、  
ゆっくりお休み

○トラック3

■広間

//前トラックから数日後。教養レッスンの時間

//テーブルに向かい合って座る二人。海杜が紅茶を淹れている

※SE：紅茶を注ぐ音

【①ヒキ/俯き気味で】

「……はい、完成」

※SE：ティーポットを置く音

【①ヒキ/マイクを見て】

「(ポットを置いて) 今のが基本的な紅茶の淹れ方だよ。覚えた?」

主人公：こんな授業必要?

「もちろん、必要だから教ってるんだ。お客様と一緒に朝を迎える事は多いし、セックスばかりじゃなくて癒しの時間を求められる方もいるからね。結構大事なスキルなんだよ」

「君も」こへ来てもう一週間だから、そろそろ教養レッスンも進めていかないと。さあ、俺が今教えた通りにやっていらん」

//主人公、「ぎー」ちなく紅茶を淹れ始める

※SE：茶葉を入れる音×スプーン2杯分

※SE：ケトルを持つ音

※SE：お湯を注ぐ音

【②ヒキ】

「やつそ。茶葉をよく回転させるためには、高い位置からお湯を…… (語尾は次のSEで遮られる)」

//湯の勢いが強すぎたため跳ねて手にかかり、ケトルを置く主人公

※SE：水が跳ねる音 (パシャツ)

※SE：慌ててケトルを置く音 (ガチャツ)

//海杜、すぐに立ち上がる  
※SE：椅子から立つ音

**【②ヒキ/やや上へあがりつつ】**  
「(驚き、立つて) っ！ 大丈夫…？」

//海杜、前傾し主人公の手を取る  
※SE：衣擦れ

**【②やや上・ややヨリ】**  
「手にかかったの？ 見せて」

主人公：平気よ

**【②やや上・ややヨリ/「行こ」で右を見つつ】**  
「(真剣に) 平氣じやないよ！ すぐに冷やさないと。行こう…」

//海杜、主人公の手首を引いて立たせ、キッチンへ

※SE：主人公が立つ音

※SE：急ぎ足の足音×2・FO

(間)

//その後広間に戻り、手当てを終えるとこるから  
//椅子に座る主人公の前で海杜が跪いている状態

※SE：包帯を結ぶ音

**【②やや下からマイクを見て】**

「(結べでいる時の息) ……」れでいい。すぐ冷やして手当てしたから  
大丈夫だとは思つけど、今日はまだ痛むかもしれない。」めんね……」

主人公：なぜ謝るの？

※SE：衣擦れ

「だつて、俺がいきなり君に一人でやらせたせいだから。  
俺にも責任はあるだろ？」

//主人公、自分の体を軽んじるような事をいつ

※SE：衣擦れ

### 【①やや下からマイクを見て】

「(少し考えるような息) ……君はどうしてそんな言い方をするの?」

主人公：え?

※SE：衣擦れ

「『私の体なんて』とか、『手や指先くらうどりでも』とか。今言つただろう?『……ああ、『めん。怒つてるわけじゃないんだ。でも俺は君に、もつと自分を大事にしてほしいな』

//主人公、返答に詰まる

### 【⑧やや下からマイクを見て】※主人公が目線を外したので

「……ああ、『めん。怒つてるわけじゃないんだ。でも俺は君に、もつと自分を大事にしてほしいな』

「君は一人前のヴェロニカとして巣立つて行く為にここにいる。それは少し大きさかもしれないけど、生まれ変わるって事なんだよ。どんな高級ブランド品よりも、何カラットもあるダイヤモンドよりも魅力的で、価値のある存在に」

主人公：価値?  
※SE：衣擦れ

### 【①やや下からマイクを見て】

「そつ、ヴェロニカにはそれだけの価値がある。そうじやなきや、お客様だって大金を出して買おうとなんてしないだろ?」

主人公：よくわからぬ…  
※SE：衣擦れ

「ん? よくわからぬ?」

主人公：所詮娼婦だし…

**【⑧やや下からマイクを見て】**

「所詮娼婦、ね……つまり、たとえ高値で扱われようと、娼婦である以上  
その金額が自分の値打ちだとは思えないって事?  
所詮、体を売って生きていくような存在だから」

主人公：うん…

「(ふつと優しく笑って) やっぱり君は、まだ見つけられてないんだね。  
自分の価値も、居場所も……」

//海杜、主人公を優しく抱きしめる

※SE：そつと抱く音

**【⑧やや下からマイク】**

「(優しく抱きしめる息)」

※SE：主人公が身じろぐ衣擦れ

**【⑦ヨリ】**

「じつとして。」うじてると伝わってこない? 僕が君を大事にしてる事。  
ただの道具を、こんなふうに優しくは抱きしめないだろ?」

「前にも言つたけど、ヴェロニカは体だけを売ればいいんじゃない。  
男の欲求を満たすのは大前提だとしても、体だけじゃダメだ  
君の言葉、君の微笑み、君の香り……全てで男を酔わせ、魅了する。  
だからこそ男は君を求め、長く傍に置き、養おうと思う。  
それは君に、それだけの価値があるという事に他ならない」

「ベッドの上で要望に応えるのは大切な事だけど、男にかしづく必要はないんだ。  
むしろ、もつと夢中にさせて、今度は自分の望むものをたくさん  
与えてもらえばいい」

「大丈夫。俺たちが必ず、君を素晴らしいヴェロニカに育て上げてみせる。  
(少し貯めてからしつかりと) ……俺が君に教えてあげるよ。君の価値を」

主人公 … 本当に？

※SE … 小さな衣擦れ

### 【⑧ややヨコ】

「ああ、約束する。だから君も、もう自分を卑下しない事。わかつた？」

※SE … 頸ぐ衣擦れ

### 【①】

「よし。じゃあ今日は……君にはもう無理をせられないし、普通にお茶を飲んでおしまいにしてよ。右手は使えるから平氣だよね？」

※SE … 頸ぐ衣擦れ

### 【①かわい】

「さつきのは冷めやつたし、新しい紅茶を淹れるよ。お湯沸かしてくるね。(立つ時の息)」

//海杜、主人公から離れようとする

※SE … 立つ時の衣擦れ

主人公 … さつきのでいじよ

※SE … 衣擦れ

### 【①やや上・下】

「気にしないで。俺、個人的にも紅茶が好きでね。淹れるのも全然苦じゃないから」

### 【①やや上/「待つて」でマイクに背を向かつ】

「おじいお菓子も追加してあげるよ。待つて」

//海杜、キッチンへ向かう

※SE … 足音・FO

## ○トラック4

### ■主人公の部屋

//主人公が来て二ヶ月目のある日、性教育中  
//すでにフィニッシュ間際の律動状態からF-I（体位はバック）

※SE：抽挿の水音・F-I・継続

※SE：肌のぶつかる音・F-I・継続

※SE：ベッドの軋み・F-I

#### 【⑤やや上】

「（律動の息・F-I。少し長めに下さる）」

「（律動しつつ）はあ……いじょ……」のまま、もといと奥を締めて……  
やうしたら、もう……」「…」

「はあ……ひ……イク……ひ……出す、よ……」

#### 【⑥やや上から⑥やや上】

「（律動の息。高まつていき、最後に達する）」

//海杜、達する  
※SE：律動音停止

※SE：律動音停止

#### 【⑥やや上】

「（射精中の息）」

#### 【⑥やや上から⑥やや下】

「（まだ少し荒い息をしつつ、自身を抜く）はあ、は……んっ……」

※SE：抜く水音

//主人公が体を起して振り返る  
※SE：動く衣擦れ

主人公：ゴム外してあげる

### 【②ややヒキ】

「え……君が外してくれるの？」

//主人公、膝立ち状態の海杜の足元まで来る

※SE：動く衣擦れ

### 【①ややヒキ】

「いいね。男にとっては嬉しい」奉仕だよ。今日は危険だから『口淫』だけ、「んなサー』スがあるながそれもよかつたって思えたね」

※SE：『口』を外す音（ピチ、パチ系）

### 【②ややヒキ】

「よべできました。上手だよ」

※SE：『口』を『口』箱に捨てる音（ボサツ）

//主人公、汚れを舐め取る為の軽い口淫

※SE：『チヤピチヤ』舐める感じの水音・継続

### 【①上】

「（軽く感じつつ）う……へえ……そんな事もしてくれるんだ？」

「（軽く感じつつ）ん……命じても命じて命じても嬉しい」舐めて……俺の精液、おいしい？」

「ふふ……今の顔、すいへんやうじよ。素晴らしいわ……」

//主人公、口淫をやめて顔を上げる（水音「」）

※SE：衣擦れ

### 【①】

「ありがとう。……指導を始めて二ヶ月になるけど、君の成長は予想以上に速いよ。そもそも専属制をやめても大丈夫だろ？」「半年もしないうちに買い手がつく可能性もありそうだ」

主人公：え…

「(少しからかうよう)に(ん)…(じ)したの?  
俺が専属じゃなくなるのは寂しい?」

主人公：べ、別に! (と横を向く)

※SE：衣擦れ

【⑦】※主人公が顔を背けたので

「(クスッと笑つて) そうだよね。君が進歩したっていう事だし、ここには他にも様々な個性を持った指導係がたくさんいる。持ち回りになれば今まで以上にバリエーションに富んだ教育を受けられて、君の技能も格段に上がるはずだよ」

「それに、ヴェロニカが教育係に情なんて持っちゃいけない。俺たちの事は、自分が羽ばたく為の踏み台だとでも思つておけばいい」

主人公：なら優しくしなければいいのに

※SE：衣擦れ

【⑧】※主人公が海杜を見たので

「え……優しいって、俺が?」

※SE：頷く衣擦れ

「寂しがらせたくないなら優しくするなって? それは……」

主人公：私は違うけど! 他の子の話よ

(本当は自分もそうなので少しムキになつて説明)

※SE：衣擦れ

①

「(クスッと笑つて) はいはい、わかつてるよ。君は別に寂しくないけど、俺がこんなふうに接してたら、中にはその気になっちゃう子もいるかもしれない……そういう話だよね?」

※SE：頸く衣擦れ

「うーん、でもなあ……」「うう性格だし、お客様だつてヴュロニカを大切にしてくれる紳士ばかりだしね。それに、支配だけを感じる生活じゃ君たちの心が休まらないだろ？俺は心も体も健やかな状態で君たちを送り出したいから、ここを居心地の悪い場所にはしたくないんだ」

「まあ専属を離れたって週に1・2回は担当するし、そもそも同じ場所に住んでるんだから寂しがる必要もないさ」

主人公：……

②  
「(ふうと笑つて) ……あと。雑談は」の辺にして、シャワー浴びようか」

「一緒に入ろう。さつきの」奉仕のお礼に、体を洗つてあげるよ」

主人公：え：いいよ

※SE：衣擦れ

①  
「いいからいいから。さあ、可愛いヴェロニカ、お手をひつぞ」

//海杜、手を差し伸べる

※SE：衣擦れ

//主人公、しばし迷うが手を取る

※SE：手を重ねる音

(間)

■バスルーム

//海杜、椅子を主人公の方に動かす

※SE：浴室用椅子を動かす音（カタツ）

【⑧】

「まい、座つて」

//主人公、座る  
※SE：座る音

//海杜は主人公の前に跪く  
※SE：座る音（ペタ、ペタ）

【⑧やや上から⑧】

「(跪ぐ時の息)」

【⑧】  
「じいぱい汗かいだし、綺麗にしないとね……」

//海杜、手にボディーソープを出して主人公の体に触れる

※SE：容器のポンプを押す音、2回ほど  
※SE：水気を含んだ肌に触れる音

//体を撫でるように洗い始める

※SE：水気を含んだ肌に触れる音・断続的に

【①ややヨコ】

「(小さな笑い混じりに) ほら、背筋伸ばして。それじゃ洗いつらうよ」

//主人公、背筋を伸ばす

【①ややヨリから②ややヨリ/洗つている時は田線も体を見て】

「うん、いい子。(洗いつつ) ……この肌も、しっかり手入れしたおかげで  
す」へ滑らかになつた。触れても抱きしめても心地いい、綿のよくな肌……  
大切にしないとね……」

主人公：くすぐつたい

**【②ややヨリ/マイクを見て】**

「くすぐったい? でもあまり力を入れたら、今度は痛いだろ?」

主人公：そこまで優しくなくていい

**【①ややヨリ】**

「(優しく)ダメだよ。乱暴になんてしたくない。優しく触れなくちゃ」

「ついさっきも、それにこれまでにも言ったと思うよ。俺にとつて君は大切な存在なんだって事。だから優しくしたいと思うし、慈しみたいと思う」

主人公：なぜ……、ヴェロニカになる女だから?

**【②ややヨリ】**

「なぜ、か……もちろん、ヴェロニカになる女性だからっていうのもあるよ。でもそれだけじゃない」

「和とい」で出会ったのも何かの縁だらうから。これも前にも言った事だけど……ちゃんと自分の価値を見出して、巣立つていってほしいから、かな」

**【①ややヨリ】**

「(改めて主人公を見、ふと笑つて)最近の君、出会った頃よりずいぶんいい田をするようになった。少しあわかつてきた? 自分にもちろんと価値はあるんだって事」

主人公：少し

「やつ、よかつた」

「今は少しだけでもいい。その自信を忘れないで。君が忘れなければ、  
僕」へ行つたって毅然と、輝かしく生きていけるはずだから」

○トラック5

■主人公の部屋

//前トラックからしばらく経過

//主人公、ベッドへ拘束され、バイブを挿入されて放置されている

※SE：バイブレータの振動音・小さめ・FIして継続

※SE：身をよじる衣擦れ・FIして断続的に継続

//しばらくすると状況を知らずに海杜が入ってくる

※SE：ノック音

※SE：ドアを開ける音

【⑨ヒキ・やや上】

「(話しながら入ってきて、途中で状況に気付く) やあ、洗濯物と切れかけてたボディオイル持つてき……」

//主人公、海杜を見る

※SE：動く衣擦れ

【⑩ヒキ・やや上】

「あれ……」「めん、もうレッスン中だったんだ

//海杜、ベッド脇まで来る

※SE：ドアを閉める音

※SE：足音・数歩

//海杜、傍らに持ってきた服を置く

※SE：服を置く衣擦れ

【⑪上せよ】

「今日はレイくんの担当だったつけ？ 時間変わったの？」

※SE：頷く衣擦れ

「そつか。専属を離れてからも問題なく進んでるし、そこまで把握してなかつたよ。」「めんね」

//海杜、身を屈めて主人公の耳元に顔を寄せる

※SE：衣擦れ

### 【③ややヨリ】

「(少しだけ意地悪に、囁き気味で) ふふっ……ベッド、すい」事になつてゐるね。  
ビショビショだ」

「手首縛られて、おもちゃ突っ込まれて……でも一人で放置されてるだけなのに、  
そんなに感じちゃつてゐるの? 今で何回くらいイッた?」

主人公：わからない

「(からかうように) わからないくらいイッちゃつてるんだ?  
いやらしいね」

主人公：止めて…

※SE：衣擦れ

### 【②ややヨリ】

「ん……苦しいの? でも俺が止める事はできないよ。今日はそういうお客様を  
想定しての指導なんだろうし、そもそも担当は俺じゃないし」

//海杜、主人公の顔に顔を近づける

※SE：衣擦れ

### 【①ヨリ】※キスの位置より少しだけ引き気味

「けど……もう無理なんて言つても、本当は気持ちよくて  
たまらないんだろ? 今の君、とても淫らで可愛い顔してゐるよ。  
……思わず欲情しちゃうくらい」

//以降、主人公を可愛く思う気持ちと欲望から、  
つい手を出してしまつ海杜

### 【①ヨリ】

「(キス。長めに)」

### 【①ややヨリ】

「（息をひき）キスも気持ちいいよね。中途半端な快感が辛いな、もつと強くしてあげる」「……」

//海杜、バイブの振動をあげる

※SE：スイッチ音（力チック）

※SE：振動音、大きさを増して継続

※SE：よがる衣擦れ

### 【①】

「ふふっ、これだけで腰が跳ねちゃうの？　でも、まだ足りないだろ？..」

「ほり……君が欲しい快感をあげる。イッちゃうでいいよ」「……」

//海杜、バイブを抽挿

※SE：抽挿の水音・継続

※SE：よがる衣擦れ

### 【①から①ヨリ】

「やつ、感じて……好きなだけ乱れて……（深いキス）」

### 【⑧ヨリ/首の位置まで下がりつつ】

「（頬から首筋へキスを下げていく）」

### 【⑧やや下】

「（胸元に数回キス）……俺が敏感にしてあげた乳首も、痛そうなくらい膨らんでるね……（胸を舐め）」

※SE：よがる衣擦れ

「（胸舐めつつ）……出ちゃうかも……？」「……」「……」

//海杜、追い立てるように抽挿も速める

※SE：抽挿の水音、少し速さを増して繰続

「(胸を舐めたり吸つたり)」「

### 【②やや下から①】

「(逆の胸を舐めたり吸つたり。最後に主人公が潮を吹いて達する)」

※SE：ビックンと痙攣する衣擦れ

※SE：潮吹き音

### 【②やや下から①】

「(口淫をやめて息をつき) つ……はは、いっぽいだ。  
ますます、ビショビショだね

//海杜、バイブの振動を元に戻す

※SE：スイッチ音

※SE：振動音、最初のものに戻つて継続

主人公：意地悪…

※SE：小さな衣擦れ

### 【①やや上】

「意地悪したかったわけじゃないんだけど……君が可愛くて、つい」

「(バツ悪げに) でも確かに、これじゃルイくんに怒られるな。  
……」「めん、今のはなかつた事にして」

(※個人的な感情でしてしまった事を反省している)

「ルイくんを探して、そろそろ限界みたいだよって言つておくよ。

それで許してくれると嬉しい」

【①やや上から②やや上/マイクに背を向かつて】

「じゃあ、頑張ってね」

//海杜、立ち去ろうとする→呼び止められてすぐ止まる

※SE : 足音・数歩

主人公 : 待つて  
※SE : 衣擦れ

【⑩やや上/背向け状態から振り返って】

「(少し驚きつつ止まって) へ、……なに?」

主人公 : 明日は海杜の日よね?  
※SE : 衣擦れ

【⑨やや上】

「うん……明日は俺が担当だから、いつもの時間に始めるよ。ここで待っていて」

//海杜、出でていく

※SE : 足音

※SE : ア開閉音

(間)

//翌日、性教育中。正常位でむつみ合っている

※SE : 抽挿の水音・F・・・継続

※SE : 衣擦れ・F・・・断続的に継続

【⑧やや上】

「(律動の息・F・・・少し長めに下を)」

主人公 : 海杜とが一番気持ちいい…  
※SE : 衣擦れ

「(以降、律動しつつ) ん……ふふ、そつなんだ。ありがとう」

「俺とするのが一番気持ちいいって思ってくれるのよ、素直に嬉しいよ。体にはある程度相性もあるしね」

「(悪戯っぽく) でも、他の教育係には言わない事。  
拗ねちゃう奴もいるだろ?」

※SE：頷く衣擦れ

「うん、いい子だ」

【①ヨリから①ややヨリ】※キスの時だけ寄る

「(額に) 一回キス) .....欲情に正直で、淫らで.....可愛い娼婦になつたね。  
君としてみると、俺もつい熱くなつたつになる.....」

「もへ、イキそつだ!.....速くするよ.....えつ.....」

//律動を速める

※SE：抽挿の水音・速さを増して継続  
※SE：肌がぶつかる音・継続

【①ややヨリ】  
「(律動の息。熱さを増して)」

【⑧ややヨリ】  
「はあひ.....はひ.....えひ.....イ、ク.....」

「(律動の息。昇り詰めていき、達する)」

//二人、達する(律動音停止)

//海杜は主人公をギュッと抱き締める

※SE：抱きしめる衣擦れ

【⑧ややヨリから⑧やヨリ】

「(ギュッと抱きしめてから、射精の際の息)」

【⑦ヨリから⑦やヨリ】

「(まだ荒い息をしつつ、主人公を見る)」

### 【①ヨリ】

「（熱く優しいキス。長めに下さる）」

### 【①ややヨリ】

「（息をついて）……本当に魅力的になつた……君は俺が育てた新人の中でも特に優秀な、自慢のヴェロニカだ」

「もう見つけられてるよね、自分の価値。俺が胸を張つて送り出せるほどの存在になつたんだから、自信を持つて生きていくんだよ？」

主人公：それって…

※SE：衣擦れ

「……うん。屋間ボスを含めた全員で話し合つたんだ。君はもう充分成長したから、買ひ手を探し始める事になつた」

主人公：…そう

//海杜、主人公を再び抱き締める

※SE：抱きしめる音

### 【⑧ややヨリから⑦ヨリ】※抱き締めてから耳元で台詞

「（抱きしめる息）……大丈夫、心配いらないよ。

俺が責任持つて、素敵なお客様を見つけてあげるから」

○トランク6

■広間

//数日後。海杜が誘い、二人で紅茶を飲んでいる（向かい合って着席）

※SE：カップを持つ音×2

【②ヒキ】

「おいしい？ タルトも食べてね。街で買ってきた、最近人気のある商品なんだよ」

//主人公、タルトを一口食べる

※SE：カップを置く音

※SE：フォークを手に取る音

※SE：フォークが皿に当たる音

主人公：おいしい

※SE：衣擦れ

「よかつた。今日はレッスンじゃないから、マナーは気にしなくていい。たくさん食べて」

主人公：なぜ誘ったの？

※SE：衣擦れ

「久しぶりに指導じゃなく、ただ君の為に紅茶を淹れるのもいいかと思つて。専属を離れてからはなかつただろう、『うううの』」

主人公：話があるんじや？

※SE：衣擦れ

【①ヒキ】

「（一瞬驚いた後、ふつと苦笑する）……鋭いね。人の感情の機微にさとくなつたのも、指導のたまものかな」

「……当たり。話したい事があったから誘つた」

【①ヒキ】※顔頭の息の時は目を伏せ、顔を上げてマイクを見てから台詞  
「(静かに一呼吸して)……おめでとう。決まったよ、君の買い物」

主人公：だと思った  
※SE：衣擦れ

【⑧ヒキ】  
「それも気づいてたか。はは、じゃあもったいつける意味なかつたな」

「詳しい事は明日ボスから話があると思つけど、身分も申し分ない大物だ。  
安心していいよ」

「たまに期間限定の契約を望まれるお客様もいるけど、君の主人になる人は違う。  
君の身柄は彼に引き渡され、不慮の事態……例えばすぐにその方が  
亡くなってしまうとか、そういう事がない限り、今後の生活も彼と君の意思に  
任せることになる」

「二」の洋館から旅立つ時が来たんだ。君はもつ、正真正銘のヴェロニカだよ」「

主人公：わかった。せいぜいいい暮らしをさせてもらうわ  
※SE：頷く衣擦れ

【①ヒキ】

「ああ。思い切り夢中にさせて、いい暮らしをさせてもらえばいい」

「(優しくぶつと笑つて) すつきりした顔で笑つよつになつたね。  
そういう顔を見ると嬉しいよ、俺も」

主人公：海杜のおかげ

※SE：衣擦れ

「え……俺の?」

主人公：私の価値を見出そうとしてくれる海杜が担当だったから

「そつか……君にやう言つてもいいだるなじ、俺の指導は大成功だ。

「ちがい」や、ありがとう」

### 【①ヒキ/軽く目線を外して】※少し考えている感じ

「俺が君に、今の自分に価値を見出して、強く生きていってほしいと思ったのは……まあ、もう最後だし言つてもいいかな」

主人公：え……？

※SE：衣擦れ

### 【①ヒキ/マイクを見て】

「苦笑混じりに別に大した話じゃないんだけどね。君が来た最初の日……生い立ちを聞いた時に、昔の俺に似てるなって思ったんだ」

主人公：似てる？

※SE：衣擦れ

「やう。施設育ちなんだよ、俺も」

「親に捨てられたっていうのも同じ。それで若い頃はやさぐれちゃって、自然と普通じゃない付き合いもするようになつてね。とある縁があつて、この組織に入つたんだ」

「もちろん」という所だし、似たような境遇の子が来る事は珍しくないんだけど。君は何もかも諦めたような顔をしてる」「やうも、昔の、鏡に映つた自分によく似てるなと思って」

「諦めて、自分の体を痛めつけて、こんな自分に存在意義なんてないっておどしめて……多分、方法は違えど同じような生き方をしてきたんだと思つ」

「でも俺は、ここへ来て教育係になつて、初めて自分の存在価値を見つけられた気がした。というか、結局全部自分次第なんだよね。自分の生きる場所を掃き溜めだと思って腐っていくか、そこからのし上がつていくか。決めるのは自分で、気の持ちよう次第で、どれだけでも楽しく生きていけるんだ」

「……で色々な女の子を見てるうちに「そう気づいて、俺も変われたから……君にも教えてあげたいと思った」

主人公： そうだったんだ、ありがとう

※SE： 衣擦れ

「どういたしまして。だから俺も今、本当に嬉しいんだよ」

//その時、別の教育係がやってくる

※SE： 近づく足音

【②ヒキで⑨方向を見つつ】※二人ともルイを見ている  
「ん……あ、ルイくん。どうしたの？ 彼女に何か？」

//傍まで来たルイ、一人に話しかける

※SE： 足音停止

※SE： 衣擦れ

【②ヒキで⑨方向を見て／「わかった」でマイクを向きつつ】

「あ、そつか……今日のルイくんの指導が最終レッスンになるんだね。わかった、じゃあ」のお茶を飲み終わったら部屋に……（語尾は主人公に遮られる）「（

主人公： 待つて。 それ海杜がいい  
※SE： 衣擦れ

【②ヒキ/マイクを見て  
「え……俺が？」

主人公： お願ひ  
※SE： 衣擦れ

【①ヒキ】  
「君……」

「……（優しく）仕方ないな、いいよ。  
最後だからね……特別に我儘を聞いてあげる」「

【①ヒキで左を見て】※キャスト様から見て左

「ルイくん、俺からも頼むよ。今夜の指導係、俺に代わってほしい。  
何かあった時は、俺が責任を持つから」「うう、ありがとう」

ルイ、了承  
※SE：衣擦れ

「うう、ありがとう」

○トランクフ

■主人公の部屋

//前トランクの続き。ベッドで抱き合っている状態

※SE：衣擦れ・断続的に

【①ヨリ】

「(熱いキス)」

//主人公、服を脱ぐうとする

※SE：衣擦れ

【⑧】

「待つて、自分で脱がなくていい。俺にさせで」

//服を脱がしながら話す

※SE：上衣とブラを脱がしていく音

【⑧から①ややヨリ】

「(脱がしつつ) いいんだよ、俺がそうしたいんだから。……ん……ほら、顔を上げて。ちゃんと俺を見ていて……」

【①ややヨリから②ややヨリ】

「……綺麗だ。下も脱がすよ。(軽く押す) ん……」

//主人公を横たえ、下衣も脱がす

※SE：ベッドに横たわる音

※SE：下衣を脱がす衣擦れ

//海杜、自身も脱ぐ

※SE：上衣を脱ぐ音

※SE：ベルトを外し、ファスナーを下ろす音

※SE：下衣を脱ぐ音

【②ややヒキ】

「(自身が脱いでいる時の鳴き)」

//海杜、主人公に覆い被さる  
※SE：衣擦れ

### 【②から①やヨコ】

「(覆い被さる時の息)…………わづ」の肌に触れる事はないと  
思つてたんだけど…………最後に、たくさん愛してあげる…………」

### 【①ヨコ】

「(裸のキス)」

### 【⑧ヨコから②ヨリ間で】

「(顎に複数回キス。頬、耳元、額など場所を変えて)」

### 【③やヨコ】

「…………こんな事をしたのは初めてだ。一 志模範的で優秀な教育係って言われて、  
ルールを破った事なんてなかつたんだけどな…………」

「(クスッと苦笑) それだけ君を応援してゐただよ。  
…………もう二つ事にしておこう」

### 【②やヨコ】

「さあ、もう二つしておこう。今日はおのれの壁に書いてあるが

主人公：胸触つて  
※SE：衣擦れ

「胸? いじよ。でももう触られるだけじゃ物足りないんじゃないの?」

//胸の口淫と手淫

※SE：小さな衣擦れ・断続的に

### 【②やセド】

「(胸元に吸い付くキスをしつつ) そ、ふ…………ふ…………  
指と唇で少し乱暴なくちこしてじられなきや、満足できないだらう…………」

「…………ふ…………」

「(乳首を舐めたり吸つたっ)」

「(舐ぬひつ) そん……ほらね……最初から強くされても、すぐ反応する……  
本当に、男を喜ばせる淫らな体になつた……(舐めたり吸つたっ)」

**【②やや下から①やや下】**

「(息をひき) 」わかも触るよ」

//主人公の足を開く

※SE：衣擦れ

※SE：水音

**【①やや下】**

「ふふ、ヒクヒクさせて……嬉しいや。」

//秘部の手淫しつつ胸舐ぬ

※SE：水音・継続（小さめで）

※SE：よがる衣擦れ

**【⑧やや下】**

「(胸舐ぬひつ) う……クリトリスもすぐ敏感になつたよね……ふ、ふ……。  
「つかひて、胸舐めながら」つわを剥き出しにしてつまむだけで……」

※SE：よがる衣擦れ

**【⑧やや下から軽くマイクを見て】**

「うん、気持ちいいよね。イッていいんだよ。外いじられただけでも簡単に  
イクようになつちやつたいやうしい」と、見せて?」

**【⑧やや下】**

「(胸舐ぬひつ) は……う……あ、ビクッ……う、ふ……」

「(胸舐ぬひつ) 最後に主人公が達する」

//主人公、達する（水音停止）

※SE：ビクッとする衣擦れ

**【⑧やや下から①】※顔の息のところで上がる**

「(息をひく) す、じ、ね。見て。俺の手、もつ手首までアロアロ」

//海杜、自分の手を見せつつ舐める

※SE：衣擦れ

**【①】**  
「(指を舐める) ふふ、おいしぃ」

**【②】**

「君も直接舐めてほしいよね。お尻」(ちあ)に向けて、四つん這いになつて

//主人公、四つん這いになる

※SE：ベッドの上で動く音

**【④下方】**

「」(くな)に舐(な)してお尻の方まで濡れてるよ。全部舐めてあげるね……」

**【⑤下方】**  
「(アナル付近を舐める)」

※SE：みがる衣擦れ

「(舐ぬながら) うつ……」(うちの入り口も、感じるのは……?)  
うつ……でも今日は、舐めるだけね……入れるのは……  
普通に、前に入れたいから……んん、ふつ……」

「もつ少し腰上げて……」一番感じ(る)、「舐めてあげる」

※SE：少し動く衣擦れ

**【⑥下方】**

「(クバシと笑つて) また濡れてる。エダも充血して、いやらしい色だ……」

### 【⑤下方】

「(秘部を舐める)」

「(舐めたり吸つたり。激しくしていく)」

「(舐めたり吸つたり。最後に主人公が達する)」

//主人公、達する

※SE：ビックとする衣擦れ

### 【⑤下方から④下方】

「(息をついて) あれ、またクリでイッちゃつた?」

//海杜、体を起<sup>二</sup>す

※SE：衣擦れ

### 【④下方から⑤】

「(体を起<sup>二</sup>しながら) じゃあ次は……」

//バックで一気に挿入

※SE：水音

### 【⑤】

「(挿入。やや感じて) んつ…… ほり…… 中で俺の、  
たくさん感じたらいいよ……」

主人公：イツてるのに……！

※SE：よがる衣擦れ

「(やや感じつつ) はあ……んつ…… 駄目だった…… イキながら  
中を!!」じ開けられるのも悪くないだろつ……?」

「君の内側は、気持ちよさそうにうねつてゐるよ……はあ……んつ……」

//緩く律動を始める  
※SE・水音・継続

**【⑤から⑥】**

「(律動しつつ) はあ……はつ、んつ……あ、気持ちいい……」

**【⑥】**

「(律動の息)」

//律動一旦停止

「(息をついて) ……抱き締めたいな。」のまま座りつか……」

//背面座位に以降

※の△：ベッドの上で動く音

**【⑥から⑦ややヨコ/⑦では並行】** ※背後から密着し、顔が横に来る  
「(体勢移動時の息)」

**【⑦ややヨコ】**

「ふふ、近くなつた。(抱きしめる感)」

※の△：抱きしめる音

「一緒に動」「う…… (律動開始) うつ……」

//律動開始

※SE・水音・継続

「(律動の息。最初は控えめ)」

**【⑦ややヨコ/軽くマイクを向く】**

「(律動しつつ) んつ……もつと動けるだらう……、深くして……  
ハシチな可愛らしい」で、俺のをたくせこ「ゆうてよ……はあ……んつ……」

//律動、少し激しくなる

※SE：水音、少し大きさを増して繰続

**【⑦ややヨリ/並行】**

「はあ……あつ……ふつ……じょよ……す」へい、

**【⑦ややヨリ/軽くマイクを向き、更に寄りつつ】**

「君も……たくさん、感じて……」

**【⑦ヨリ】**

「(律動しつつ耳舐め)」

※のE：よがる衣擦れ

**【⑦ややヨリ】**

「(律動しつつ)はあ……いい声だ……ほてつた頬も、額を伝つ汗も、扇情的で……もつと君の乱れると「が見たい」と……そう思わずにはいられない……君の主人になる人も、同じ事を思つよ……必ず君の虜になる……」

**【⑧ややヨリ】**

「」いち、向いて……」

**【⑧ヨリ】**

「(律動しつつ熱いキス)」

「はあ……もつと、しよう……(律動しつつ熱いキス)」

**【⑧ヨリ/首の位置まで下がりつつ】**

「(律動しつつ頬から首筋にむしゃぶりつくようなキスを数回)」

**【⑧ややヨリ】**

「(律動しつつ)はあ……ふつ……(小さく笑う) ふふ、もう止まらないね……体が、この快感を抑えたくないといつて言つてゐる……。君も、だよね……?」

主人公：うん……

「じじょ……一回、イーッ!」のまま……」

//律動を更に激しくする

※SE：水音・やや大・継続

※SE：肌のぶつかる音・継続

「(律動の息。これまでより快感を増していく)」

「(律動しつつ) はあ……はつ、んつ……あ……イ、ク……」

「(律動の息。昇り詰めていく)  
【⑧ややヨコ】

「(律動しながら熱いキス)」

「(律動しながらキス。最後にキスのまま達する)」

//一人、達する(海杜中出し)

※SE：ピクッとする衣擦れ

【①ヨリ】

「(キスを解き、射精中の鳴)」

【①ややヨコ】  
「はあ……はつ……ふつ……もう少し……まだ、出でる……」

「(射精しきつて荒い息を落ち着けていく)  
【⑧ややヨコ】

「……抜くね。今度は寝ていいよ。(抜く時の息) んつ……」

※SE：抜く水音

//共に動き、正常へ  
※SE：ベッドの上で動く音

【⑦かい⑧やヨコ】  
「(体勢移動時の息)」

【①ヨコ】  
「(深いキス)」

「(キスしながら) ん、ふ……入れるよ…… (キスしながら挿入) んっ、ん……」

※SE：挿入の水音

//海杜、すぐに緩く律動を始める

※SE：水音・断続的

【①ややヨリか②】  
「はは、すい」の音だ。俺のと君のが、中でぐちゃぐちゃに混ざってるんだろうな

【①ややヨリか②】  
「(緩く腰を回して) もうと腰を回してみようか。こうやつて、  
やつて、ぐるりと内側を「すりついだら、気持ちいいかな……」

主人公：焦らさないで…

※SE：衣擦れ

//海杜、律動一旦停止

【②】  
「(樂しげに) ふ? 焦らしているつもりはないんだが……やつてつて事は、  
君は焦れてるんだ?」

「じゃあどうしてほしの? 言いなよ」

主人公：また奥まで…

※SE：衣擦れ

【②から②ややヨコ】※笑ぐ時に少し音の  
「(クスッと笑って) わかった。奥までねじ込んであげる……」

「『よつ』でズンッと深く突く」

※SE : 深く突く水音 一回  
※SE : 主人公がよがる衣擦れ

//海杜、深い抽挿を始める

※SE : 水音・継続

【③ややヨコ】

「(律動しつつ) んつ……「うしてほしかったんだろう……?」  
どう、気持ちいい……?」

主人公 : いい……

※SE : 衣擦れ

【③ややヨリから②ややヨコ】

「(律動しつつ) はあ……ふつ……おねだりも上手になつたよね……」

【①ヨコ】

「(律動しながらキス)」

//海杜、一旦律動を緩める(水音停止)

【①ややヨリから②】

「(息をついで) もつとしてあがる……足持つかい、もう少し腰上げで……」

//海杜、主人公の両足を持つて開く

※SE : 足を掴む音×2

※SE : 衣擦れ

【②ややヒキ・やや上】

「ふふ……「うして開くと、繋がつてると」私が丸見えだ……」

//海杜、ゆっくり抽挿する

※SE：水音・断続的に

「君にも見えるだろう……？」（抽挿しながら） ほり……ずぶずぶ入つて……  
ああ、もつ根元まで食べられちゃった……」

「んつ……抜く時は……君の入り口が引き留めるみたいにキュウウして  
締まるよね……もつと中にしてほしきの？ 可愛い……」

【②かじり/①ヒヤ・やや上】

「（ゆくべり抽挿。控えめの息）」

主人公：また焦らして…  
※SE：衣擦れ

【①やせヒキ・ヒヤ】

「ああ、そつか。ゆくべりなのは焦れつたいんだっけ」

「わかったよ。その代わり、もつ止まらないからね……ちやんとついてきて……」

//律動を速める

※SE：水音・継続

【①ヒヤ・やや上から①ヒ】

「（律動の息）」

【①】

「（律動しつつ）はあつ……んつ……！」、だろう……。  
「……を、硬い俺ので何度もガツガツ突いて……イかせてほしいんだよね……  
はあつ……んつ……」

「……よ……何度も、してあげる……」

//律動を激しくする

※SE：水音・やや大・継続

※SE：肌のぶつかる音・継続

【①から⑧】

「(律動の息。激しさを増していく)」

【⑧】

「まだだよ……もひと……んつ……」

//律動を更に激しくする

※SE：水音・やや大・速さを増して継続

※SE：肌のぶつかる音・継続

※SE：ベッドの軋み・継続

「(律動の息。更に熱っぽさを増していく)」

「(律動しつつ) はあ……んつ……ああ、いいよ……俺も……  
すくへ、感じるの……はあつ……くつ……」

「(律動の息)」

「ふう……はあ……くつ……ああ、出、る……」

【⑧から①】

「(律動の息。昇り詰めていき、最後に達する)」

//一人、達する(水音停止)

※SE：バクッとする衣擦れ

【①】

「(射精中の息)」

//海杜、主人公の足を下ろして覆い被さる

※SE：足をベッドに下ろす音

※SE：覆い被さる時の衣擦れ

【①から②や③】

「(覆い被さる時の息) 大丈夫……」

【①πつ】

「（熱いキス。舐め）」

【②ややヨコ】

「（ハーフの君は、本当に綺麗だ……。君の中に出した後は、なんだか精気も魂も吸い取られたようでも……でもそれが、すく心地いい……」

主人公：ねえ、私の事忘れない？

※SE：衣擦れ

「え……もちろんだよ。」「一緒に過（）したのは数カ月とはいえ、君の事は忘れない。君も……俺の淹れた紅茶の味、忘れないでね」

※SE：頷く衣擦れ

「それでいい。もしまだ（）かで会う事があれば、お茶を飲みながら話をしよう。その時は、いい報告をたくさん聞かせてくれると嬉しいな」

※SE：頷く衣擦れ

【③πつ】

「ふふ、楽しみにしてるよ。それじゃあ、今日はもうお休み」

「（耳朶に一回キス） 可愛いゾロイカ……君の未来を応援してるよ。今まで過（）してきた辛い時間や退屈な時間の分、「これから幸せにおなり。それが、俺の喜びでもあるから」

（シナリオ終了）

## ボイス（マニストーリー）3種

### 【①自己紹介ボイス】

【⑨】

「やあ、初めまして。今度館に来る新人さんって君だよね？」  
「（ふいと苦笑し）そんな露骨に説しむような顔しなくても。怪しくない……  
とは言えないかもしれないけど、怖いお兄さんじゃないから大丈夫だよ。  
ほひ、もひと」「つかにおいで」

【①】

「うえ、やうせはつきり顔が見えた。（チャラじ感じではなく、優しく甘い  
感じで）……可愛いね」

「改めて自己紹介しておうか。俺は城築海杜（きつきかど）。  
君を担当する事になる教育係だよ」

「ん？『教育』って、どんな事されるのか気になるの？  
そつか……じゃあ、少しだけ教えてあげる」

【①から③ヨリ】

「（艶っぽい息遣いで耳元に顔を寄せる）」

【③ヨリ】

「（耳に数回キス）ふう……あゅう、ふう……」

「（甘く口くちづく）」「なぶつに触れて、君がた一ぐさへ気持ちよくなる事を  
するんだよ。今まで感じた事もないような快楽を、俺が教えてあげる。  
毎晩、たっぷり時間をかけて」

「不安だなんて言わないよね？俺は君が来るの、楽しみに待ってるんだから。  
約束の日になつたら、ちゃんと会いに来てよ。」

【②ややヨコ】

「(うそ、と言われ) 本当に? 気が変わった、なんていふのも無しからね?」

「(?) 承され満足げに) いい子だ。じゃ、約束のシルシ」

【①ヨリ】

「(呻に軽いキス一回) んつ。……ふふ。本当に、待つてるからね?」

【②D-L数達成記念用ミニボイス】

状況・設定：本編スピンオフストーリーのような感じ

ある日、性教育（情事）の後、主人公は寝てしまった。  
並んで横になつていて、主人公が目を覚ますところから

※SE：身じろぐ衣擦れ

【③ヒキ/並行からマイクを見て】

「ん……ああ、起きた?」

主人公：あ、私寝てた……

【②ヒキ】

「うん。君最後、あのまま寝つちやつたから。俺も休ませてもうつてた」

主人公：「あん

「別に謝る必要ないよ。今日はあれ以上するつもりはなかつたし……」

//海杜、距離を詰める

※SE：衣擦れ

【②ややヨコ】

「(少し悪戯っぽく) ずっと君の寝顔見てたから、全然暇じゃなかつたしね」

主人公：え…！  
※SE：衣擦れ

【①】  
「ふふ。結構好きなんだ。セックスの後、寝ちゃった子の寝顔を見てるの」

「激しく乱れて、疲れて……でも満ち足りた顔で眠つてると見ると、『ああ、この安息は俺が与えてあげたものなんだな』って……そんなふうに思えて嬉しいっていうか。俺も癒されるっていうか」

【②】

「ただ疲労」んぱいで寝てるのと満足して寝てるとじや、表情が全く違うから。この子は今どんな状態なのかなっていうのも、見てたらわかるし。だから俺の傍で満たされた顔して、安心して眠つてくれるの嬉しい」

主人公：なんか恥ずかしい…  
※SE：衣擦れ

【③ややヨリ】

「（耳付近で囁き氣味に）恥ずかしがる事ないよ。  
君の寝顔も、すくなく可愛かったから」

主人公：今度は私が寝顔を見てやる  
※SE：衣擦れ

【②ややヨリ】

「え……俺の寝顔……？」

主人公：そうよ。まだ見た事ない  
※SE：衣擦れ

【①】

「それは……そつそつ見る機会はないと思うよ。俺は教育係なの、指導後に疲れて眠っちゃつたら情けないだろ？」「…」

主人公：でも見たい

※SE：衣擦れ

「見たいと言われても……はは、まいったな。  
そんなふうに切り返されるとは思ってなかつた」

主人公：見てやる！

※SE：衣擦れ

「(苦笑) はいはい、わかつたよ。じゃあ君は、俺がうつかり  
握つちやうほどの濃密なセックスについて「れる体になれば  
いいんじゃないかな」

主人公：そつする

※SE：衣擦れ

「(一瞬微笑) そつされた後でふつと笑つ) ……面白いやだよね、君。  
まだ今の君じや、俺を疲れ果てたせむにまみりと足りないと感つたんだ……」

【①かわややせつ】

「どうあれ……追加レッスンいつつ事で、もう一回、ある?」

※SE：頬く衣擦れ

「うん。君の成長は俺も楽しみだからね。むか合つよ」

※SE：抱きしめ合つ衣擦れ

【①ややせつ】

「(抱きしめる息の後、キス。キスは長めにへださー・ヒ〇)」

※SE：むつみ合つ衣擦れ・キスと共にヒ〇

### 【③D-L数達成記念用ミニボイス2】

状況・設定：本編後アフターストーリーのような感じ。

主人公が屋敷を出る日、荷造り中に海杜が来る

※SE：ノック音

※SE：ドア開閉音

【⑯】  
「やあ。荷造り終わった？」

主人公：もう少し

※SE：衣擦れ

//海杜、歩み寄る

※SE：足音・数歩

【⑯から⑧】

「(歩きつつ) そつか。「めんね、邪魔して」

【⑧】

「もし荷物が増えても大丈夫そつながら、よかつたら「れをとい悪いで」

//海杜、茶葉の缶を差し出す

※SE：衣擦れ

//主人公、驚きつつも受け取る

※SE：缶を持つ音

【①】

「そつ、紅茶の茶葉。君が気に入つてたやつを何種類かブレンンドしたんだ」

「俺から君へのせんべつ。君には新しい生活が待ってるし、「」での生活を  
思い出す物なんて必要ないとも思つたんだけど。俺がしてあげられるのって、  
「れくらいだから」

【⑧】

「どうかな？ 迷惑だった……。」

※S/E : 首を振る衣擦れ（否定する）

【①】「それじゃ」はマイクから外しつつ

「よかったです。しばらくはもつかひ、やつくり堪能して。……それじゃ」

//海杜、ドアへと向かう

※S/E : 足音

//主人公、「海杜ー」と呼び背中から海斗に抱きつく（海杜の足音は停止）

※S/E : 駆け寄る足音・数歩

※S/E : 抱きつく音

【①ややヨリ/マイクに背を向けて】

「（驚く息）…………」

【①ややヨリ/マイクに背を向けて】

「（仄）感っているが、隠して苦笑しながらの感じ）…………どうしたの？ なんで止めたりなんか……」

主人公 : ありがとう

※S/E : 衣擦れ

「（また小さく驚く息）」

「……お礼なんていいのに。その為に、わざわざ」「こんな事を？」

【①ややヨリ/マイクに背を向けて俯き気味で】

「（ふっと苦笑して、面白のまゝに小さく咳く）まつたべ……最初は感情なんて忘れたような顔してたのに。予想以上に可愛くなっちゃって困るな

//海杜、主人公の手を解くと、自身が反転して向かい合う

※S/E : 手首を掴む音

※SE：腕を解く時の衣擦れ

※SE：振り返る時の足音・2歩程度

【①やややヨコ／マイクを振り返る】※回転の向きはよいかりでも結構です  
「(右記、体勢変更時の息遣い)」

### 【①ややヨコ】

「こんな事、教育係としては言つべきじゃないんだろうけど……君の指導をするのは、俺も楽しかったよ。だから君にいい買い物がついて今日の日を迎えて、本当に嬉しいんだ」

### 【①ややヨコ／軽く田線外して】

「でもなぜか……少しだけ、たまには「」の生活も思いでほしinなんて思つちゃつてゐる。それで、茶葉なんて用意して……」

### 【①ややヨコ／マイクを見下】

「(苦笑まじら)」おかしいよな。だから……今俺が言つた事とその茶葉の事は、誰にも言わないと」

主人公：秘密ね?  
※SE：衣擦れ

「やう、一人だけの秘密だ」

### 【①ヨコ／①ややヨコ】

「(軽いキス一回)」……これは約束のシルシ。どう、ちやんと守れる?」

※SE：頷く衣擦れ

### 【①ややヨコ】

「ふふだ。君は本当に……可愛いブエローかだよ」

## 巻末フリートーク用質問

### ■五十分田安

- ・本編と同様で本編後のトラックになりますので、多少のネタバレはOKです。
- ・ダミへなので適当に動いたりして下さって結構です。

■最初に、役名【城築海杜（きづきかいと）】と、「自身のお名前の名乗りをお願いします。

### ■質問1

収録お疲れさまでした。

まずは収録を終えての「感想をお願いします。

### ■質問2

作中で特に印象に残っているシーンはありますか？

（樂しかった、大変だったなど、どんな方向でも結構です）

### ■質問3

海杜は『教育係』ですが、一夜愛様にも人に教えられるよ「つな得意な」と、もしくは人に教わってみたい」となどはありますか？

■最後に、「購入下さったお客様へのお礼の言葉を添えつつ、締めて頂けますと幸いです。

ありがとうございました。